

1 学校教育目標

「確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育み、自主と自立の精神を養い、地域社会に貢献する自立した人材を育成する。」

【参考】校訓：自律・挑戦・感謝

- 自律＝基本的生活態度と礼儀・マナーを正し、節度と規律ある行動をとる。
- 挑戦＝目標を持って挑戦と努力を継続し、自信を身につける。
- 感謝＝相手を尊重し、思いやりの心で行動し、感謝し、感謝される喜びを知る。

自律、挑戦、感謝の精神で身や心を成長させ、大空(社会)に飛翔する。

2 本年度の重点目標

『地域に信頼される学校づくり』

キーワード ～ あいさつ 地域連携 進路 基礎学力 部活動 ～

- ①自律精神の育成 : 挨拶、清掃、部活動(社会性)、基本的生活習慣、CCP力
- ②基礎学力の定着 : 学び直しの時間、週末課題、少人数指導、長期休業中の欠点保持者への指導
- ③進路保障 : 将来を見据えた進路指導。目的と方向性を踏まえ、3年間を見通した各種講演会、企業・上級学校見学会、進路学習会を実施
- ④キャリア教育の推進 : 1年…「産業社会と人間」、2年…「インターンシップ」、「修学旅行」、3年…「課題研究」上記の授業や行事をおとして、「何のために、何に向かって、何を学習するのか」、自分らしい生き方を実現するために、3年間を見通した取組を実施し生徒自身に時間をかけて考えさせる。
- ⑤指導力の向上 : 5s運動、校内公開授業、校外研修への積極的参加、電子黒板、学習者用PC、教育相談(発達障害)、人権・同和教育などの職員研修、学習意欲を喚起する方策
- ⑥地域連携 : (総合学科の系列を生かした連携活動)… 小学校サマースクール(書道、環境) 玄海町からの制作依頼(美術系)、名護屋城博物館での「日韓交流史」 韓国語スピーチコンテストへの参加、生活福祉系列の介護実習
(生徒会活動)… 玄海町民会議での意見発表、わんぱく相撲や花火大会、福祉施設夏祭り等でのボランティア活動、玄海町産業文化祭への出品
(地域への広報)… 青翔ニュースの全戸配布
(その他)… 韓国への少年の船指導者派遣
- ⑦いじめ問題への取組 : アンケート、全校集会、人権講演会、面談での聞き取り調査
※CCP力＝コミュニケーション力(伝え合う力)、コラボレーション力(協働力)、プレゼンテーション力(提案力)
※5s運動＝整理、整頓、清掃、清潔、習慣

3 目標・評価

①自律精神の育成 : 挨拶、清掃、部活動(社会性)、基本的生活習慣、CCP力

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○環境整備	・環境美化に関する生徒の意識は向上したか。	・生徒が生活する環境の美化意識を向上させる。 ・校内を快適な学習環境施設となるよう整備する。	・さわやか清掃活動(校外ボランティア活動)を学期に1回実施する。 ・ゴミの適切な処理とトイレの使用について指導を徹底する。 ・美化係を中心とした活動を定期的に行う。
	●心の教育	・思いやりの心の育成ができたか。	・クラス担任との情報の共有や、保護者・スクールカウンセラー・専門機関との連携・協力体制を密にする。 ・HR活動等を通して、心の安定を図り、コミュニケーションが上手にとれるようにする。	・生徒理解と情報共有の職員研修や学期に1回の教育相談フォーラムを開く。また、スクールカウンセラーの助言を得て、関係機関との連携を図る。 ・心の健康のためのLHRを実施する。 ・コミュニケーション力の向上のための職員研修を行う。
	○生徒指導	・対話・会話を重視した生徒指導ができたか。	・卒業後を意識した生徒指導という目標を念頭に置き、全職員で連携・協力し、遅刻・欠席、服装・頭髪等の指導を行う。 ・指導措置件数が昨年より減少できるように指導を継続する。	・職員間で情報の共有を行い生徒に対して、学年をこえて関わりを持つようにする。 ・朝の校門前での挨拶運動を通して生徒とのコミュニケーションを図る。
	○読書指導	・本に親しむ生徒を育成できたか。	・学校図書館の貸出冊数を、1人平均5冊以上にする。	・配布物、掲示板、放送などを使った広報活動を行う。 ・生徒登校時の閉館日を年間7日以内にする。
	○基本的生活習慣の確立	・挨拶が活発に行われるようになったか。	・朝のあいさつ運動期間を設けて行う。	・生徒会が中心となり、各部活動に協力を依頼し、あいさつ運動期間を設けて校門や生徒昇降口に立ちあいさつ運動をおこなう。
	●健康・体づくり	・望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成ができたか。	・朝食をとっている生徒の割合を70%にする。	・保健便りや青翔ニュースなどをおとして、食育を推進し、生徒・保護者の意識を高める。

②基礎学力の定着 : 学び直しの時間、週末課題、少人数指導、長期休業中に欠点保持者への指導

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	・生徒の基礎学力は定着したか。 (青翔タイム、週末課題、少人数指導、成績不振者に対する長期休業中の指導)	・落ち着いた学習環境を作るため、遅刻・欠席を昨年度の50%以下にする。 ・調査や模試の結果を生徒に配布し、事後指導に役立てる。 ・青翔タイムの活用により基礎学力の向上を図る。	・生徒指導部と連携し、生徒面談・保護者面談等を通して遅刻を減らす。 ・調査や模試の結果を迅速に処理し、個人票の配布を行う。 ・青翔タイムに全職員で取り組み、レベルに応じた追指導を行う。
	○少人数学級編制	・一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を行うことができたか。	・新しい学校生活に慣れ、目標を持った高校生活が送れるようになる。 ・学習指導においては、理解度に応じた指導を効率よく進め、クラス経営においては、教育相談や進路相談の充実を図る。	・ホームルーム、面談などあらゆる場面で一人一人の様子を観察し、声を掛ける。 ・クラスを少人数に分けることや、TTの活用の機会を拡大させる。 ・産社の授業、キャリア教育を通して卒業後の目標を明確にする。
学校経営	○学校経営方針	・重点目標は達成できたか。	・重点目標の1つ以上の項目に満足いく結果が得られる職員の割合を90%以上にする。	・各行事前や調査前に呼びかけを行い、目標達成の意識を喚起する。

③進路保障 : 将来を見据えた進路指導。目的と方向性を踏まえ、3年間を見通した各種講演会、企業・上級学校見学会、進路学習会を実施

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○進路指導	・進路希望を達成させることができたか。	・希望する進路実現(進路保障)、卒業後の早期離職・退学を防ぐために、下記のキャリア教育を通して、勤労観・職業観の育成を目指す。 ・就職率および進学率100%を目指す。	・進路希望・生徒の適性に関することについて、早い段階から職員間での情報共有を行う。 ・団体・企業・上級学校との関係強化のために、企業・学校訪問を積極的に実施する。

④キャリア教育の推進 : 1年…「産業社会と人間」、2年…「インターンシップ」、「修学旅行」、3年…「課題研究」上記の授業や行事をとおして、「何のために、何に向かって、何を学習するのか」、自分らしい生き方を実現するために、3年間を見通した取組を実施し生徒自身に時間をかけて考えさせる。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○キャリア教育	・キャリア教育が充実したか。	・一人一人の社会的・職業的自立に向け、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」「専門的知識・技術・技能」に関する能力の育成を目指す。	・「キャリア教育支援事業」や地域の力を活用し、総合学科に特化した内容を設定。外部講師による講演会や郷土学習の教材利用、各系列による校外実習等の体験活動を充実させることでキャリアアップを図る。

⑤指導力の向上 : 5s運動、校内公開授業、校外研修への積極的参加、電子黒板、学習者用PC、教育相談(発達障害)、人権・同和教育などの職員研修学習意欲を喚起する方策

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○職員の資質向上	・教科指導力が向上したか。 (校内公開授業、校内外の研修)	・学習者用PCが全学年で利用可能となるため、ICT活用能力をより高める。 ・年間1回以上の校内公開授業と年間2回以上の授業参観を行う教員の割合を90%以上にする。 ・校内外での各種の研修会を年5回以上受講する教員の割合を90%以上にする。 ・学習意欲を喚起する方策に取り組む教員の割合を100%にする。	・ICT教育を絡めた公開授業を2回計画しており、他にも校内研修を設定しながら教員相互が授業を見せ合いやすい環境をつくる。 ・校外研修の内容が職員に伝わるよう校内研修を充実させる。 ・職員それぞれの業績評価表に学習意欲を喚起する方策を盛り込む。
	○業務の改革	・校務の効率化に努めたか。 (5S運動) 5S…整理、整頓、清掃、清潔、習慣	・定例の業務の引継を効率的に行う。 ・校務の整理や職員室等の自分の席周辺の5Sに努める教員の割合を80%以上にする。	・分掌・係毎の文書の管理方法を整理する。 ・調査後や、長期休業前に書類や資料の整理を呼びかける。
	●教育の質の向上に向けたICT活用教育の実施	・教職員のICT活用能力は向上したか。 (電子黒板、学習者用PC)	・電子黒板、学習者用PCを授業で効果的に利活用できる教員の割合を100%にする。	・教科ごとの研修会を実施し、授業でのICT機器利活用技術の向上を図る。 ・学校行事等において、ICT機器を利活用した取り組みを進める。

⑥地域連携
 (総合学科の系列を生かした連携活動) … 小学校サマースクール(書道、環境)
 玄海町からの制作依頼(美術系)、名護屋城博物館での「日韓交流史」
 韓国語スピーチコンテストへの参加、生活福祉系列の介護実習
 (生徒会活動) … 玄海町民会議での意見発表、わんぱく相撲や花火大会、福祉施設夏祭り等での
 ボランティア活動、玄海町産業文化祭への出品
 (地域への広報) … 青翔ニュースの全戸配布
 (その他) … 韓国への少年の船指導者派遣

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○系列	・科目群の授業において地域と連携した授業、活動が行なえたか。 (重点目標参照)	・各系列の特色を活かし、校外実習や他校との連携などを行う。 ・系列の特徴を活かした地域連携の活動の機会を増やす。	・地域連携の場の設定や生徒への案内を行っていく。 ・「産業社会と人間」や「課題研究」の授業において地域や企業等との連携を行う。
	○生徒会活動	・地域行事への参加と協力が行なえたか。	・玄海町町民体育大会への参加や玄海みらい学園や玄海町の行事への参加を積極的に勧める。	・本校生徒だけでなく職員が地域行事等に関わることで、地域との繋がりを強化する。
学校運営	○開かれた学校づくり	・広報活動を充実させることができたか。 (公開授業、情報発信)	・学校HP、掲示板の定期的な更新を行う。 ・青翔ニュース等を通して家庭、地域へ学校の情報を発信する。 ・はなまる連絡帳の登録件数を90%以上にする。	・有用な情報の効果的な提供を目指し、提供の時期や内容の検討を十分に行う。 ・青翔ニュースを家庭や地域にも配布する。

⑦いじめ問題への取組 : アンケート、全校集会、人権講演会、面談での聞き取り調査

教育活動	●いじめ問題への対応	・いじめの早期発見・早期対応に向けた体制づくりができたか。	・いじめ・体罰等対策委員会において、いじめ防止対策等を検討する。 ・事後対応についても迅速かつ円滑に対策をとれるような体制づくりと整備を行う。	・毎月月初めに、月別アンケート(いじめ、金銭強要、暴力行為)を実施する。今年度からは、学習用PCを使ってアンケートを行い、今まで以上に生徒の声が届きやすくさらに、生徒が情報を提供しやすい環境づくりに努める。
------	------------	-------------------------------	--	---

○本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校事務	・施設設備の維持管理に努めることができたか。	・生徒が安全に安心して学校生活を送ることができるよう危険箇所などの早期発見に努める。	・日頃から定期的に校内外を巡回する。 ・安全点検表を利用し、各担当部署とも連携をとりながら迅速な対応につなげていく。

●は共通評価科目、○は独自評価科目